

令和 6 年外国人雇用実態調査を用いた 日本語能力と賃金に関する分析 について

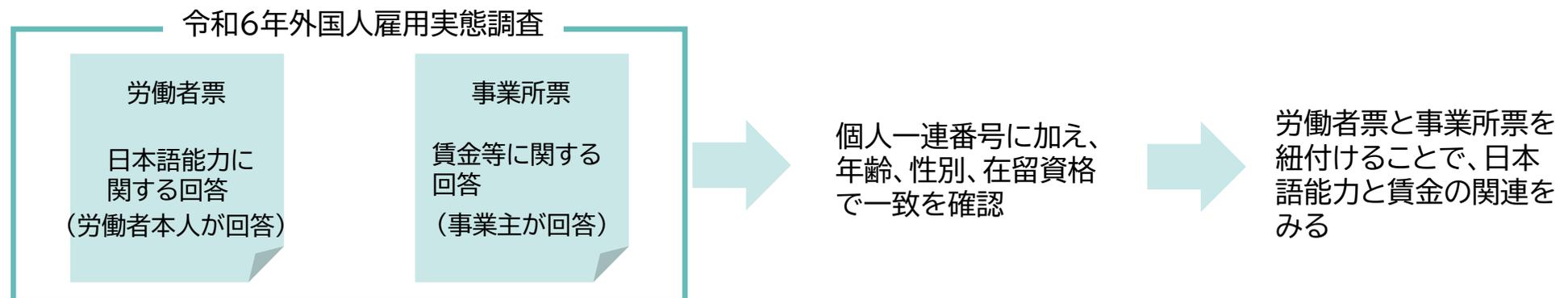
分析の目的

- 前回の「外国人雇用対策の在り方に関する検討会」で指摘のあった以下の点を明らかにすることを目的に、「令和6年外国人雇用実態調査」について二次分析を行った。

- 必要な日本語のレベルがはっきりしない。特に働く上でどのくらいパフォーマンスに直結するのかエビデンスが無い状況がある。
- 外国人雇用実態調査で日本語教育と賃金の状況など、より詳細な情報をとっていることから、これくらい日本語ができると、賃金ベースでこれくらい払っても良い人材に育つというのを、厚労省において分析し、示していただきたい。その結果を、今後、企業を中心として日本語教育体制をどのように地域で構築していくかという議論につなげていけると良いのではないか。

使用データについて

- 令和6年外国人雇用実態調査における事業所票と労働者票の2種類を使用。
- 外国人雇用実態調査では、事業所票（事業主に調査）において、雇用労働者の雇用形態、月額賃金、労働時間等の処遇面の調査を、労働者票（労働者本人に直接調査）において日本語能力（会話及び読解）の調査を行っている。
- 事業所票の対象者と労働者票の対象者は「個人一連番号」で紐付けられるが、同一人物である保証はない。よって、両者を個人一連番号に加え、「年齢」「性別」及び「在留資格」で紐付け、それらが事業所票と労働者票で完全に一致する者を同一人物と推定し、日本語能力と賃金の連動性を確認した（一致率=67.4%）。
- 上記の一致に加え、分析に用いる変数に欠損値（「不明」含む）をもつ観測値を落としてサンプルを構成した。



使用データについて

- なお、集計及び推定は常用の「一般労働者」（労働時間が短い、あるいは労働日数が少ない「短時間労働者」以外の労働者）に限定した。両者を混在させると、比較対象（就業形態）がそもそも異なる集団を一括推定することになり、解釈が曖昧になる可能性がある。よって、一般労働者に限定して推定を行った。
 - 「平均時給」は各労働者の「きまって支給する現金給与額」を「所定内実労働時間数」に「超過実労働時間数」を加えた労働時間数で除したものを、ウェイトを用いて復元し、算出した。なお、次ページの分析では、「超過労働給与額」の効果（残業が多いため、見かけの賃金が高い）を除いた額もみるため、「きまって支給する現金給与額」から「うち超過労働給与額」を減じ、「所定内実労働時間数」で除したものを「平均時給（所定内）」として表記している。
 - 上記の操作を行い、日本語能力と賃金の連動性をみることとする。なお、サンプル数の関係から、今回は「在留資格計」のみ分析を行う。
- ※ 本分析では、欠損値（「不明」を含む）の除外以外に、外れ値の除外・トリミング・ウィンザー化等を行っていない（外れ値処理は推定結果に影響し得るため、本報告では原データに近い形を優先した）。

労働者表における日本語能力調査項目について

- 労働者表における日本語能力の調査項目は以下のとおり。

Q13 あなたは ^{にほんご}日本語で ^{かいわ}どのくらい ^{かいわ}会話できますか。(あてはまるもの **1つだけ**☑)

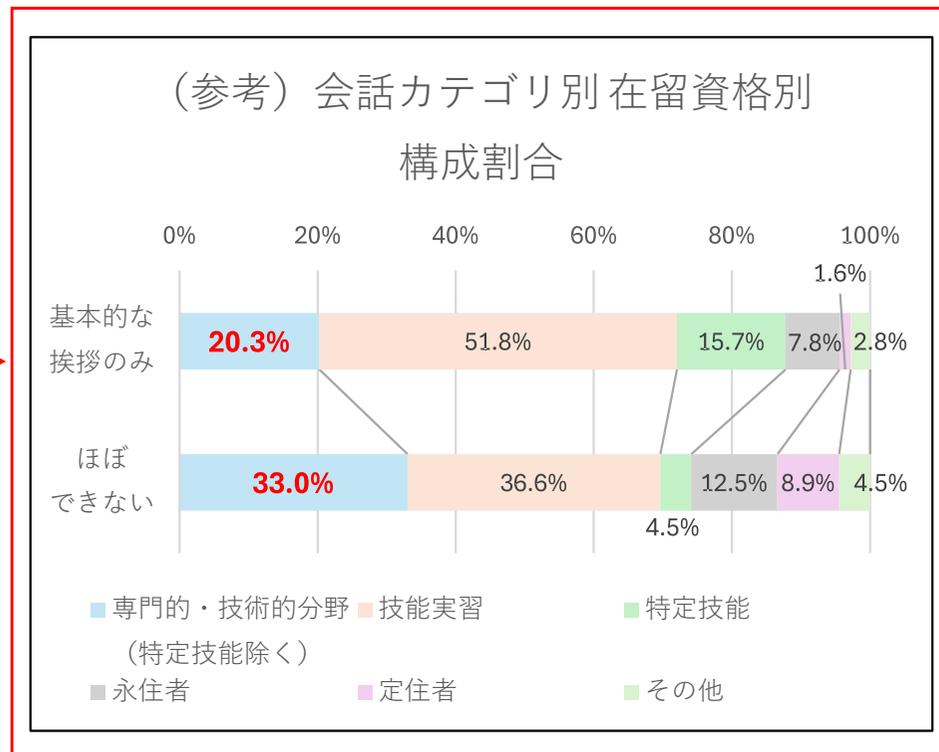
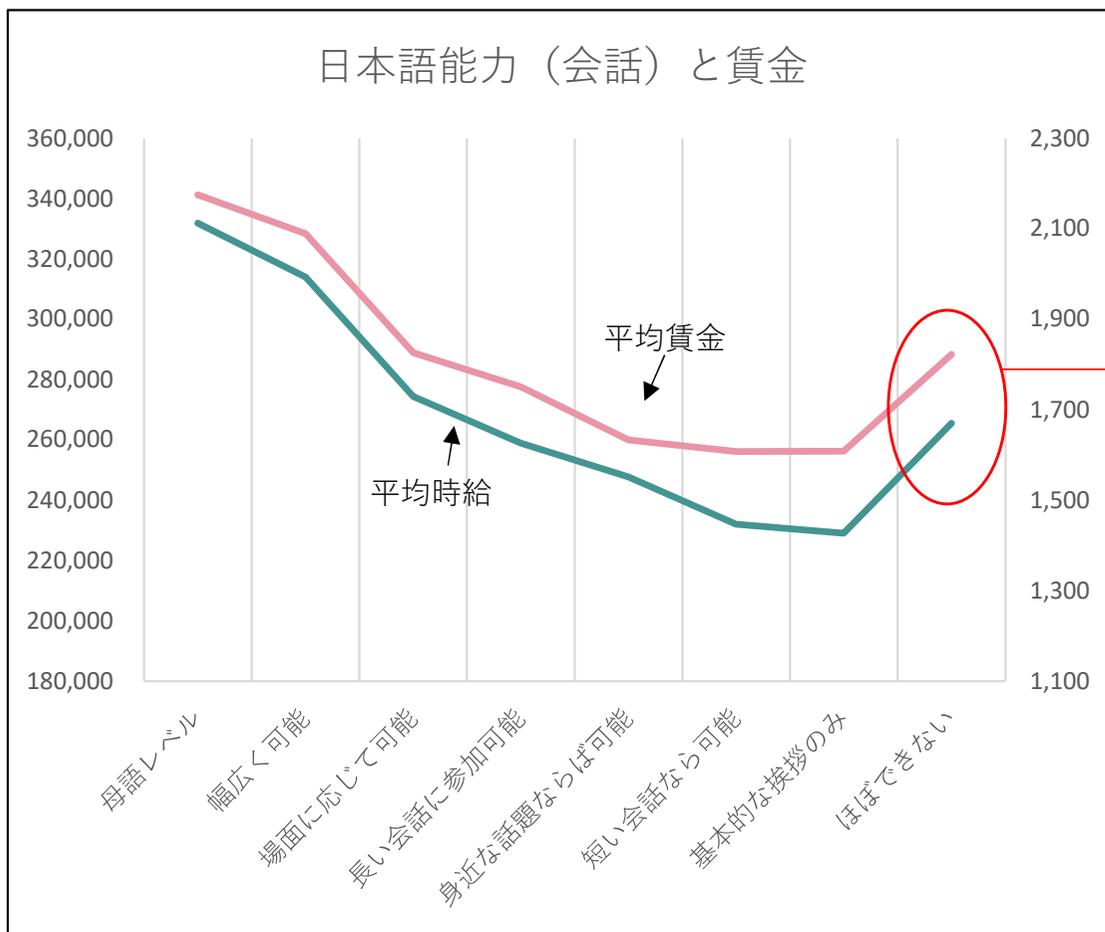
- 1. 母語が日本語 または 母語と 同等レベル
- 2. 幅広い 話題について 自由に 会話できる
- 3. 会話の 場面に おじた 言葉を 使うことができる
- 4. 長い 会話に 参加できる
- 5. 身近な 話題に ついての 会話はできる
- 6. 日常的なことなら 短い会話に 参加できる
- 7. 基本的な 挨拶の 会話は できる
- 8. 日本語で 会話は ほとんど できない

Q14 あなたは ^{にほんご}日本語で ^{ぶんしょう}どのくらい ^よ文章を ^よ読めますか。(あてはまるもの **1つだけ**☑)

- 1. 母語が日本語 または 母語と 同等レベル
- 2. JLPT 日本語能力試験N1レベル (幅広い場面で 使われる 日本語を 理解することができる)
- 3. JLPT 日本語能力試験N2レベル (日常的な場面で 使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で 使われる 日本語を ある程度 理解することができる)
- 4. JLPT 日本語能力試験N3レベル (日常的な場面で 使われる日本語を ある程度 理解することができる)
- 5. JLPT 日本語能力試験N4レベル (基本的な 日本語を 理解することができる)
- 6. JLPT 日本語能力試験N5レベル (基本的な 日本語を ある程度 理解することができる)
- 7. 日本語は ほとんどわからない

日本語能力（会話）と賃金の連動性について（在留資格計）

- 労働者票の日本語能力（会話）と事業所票の賃金を突合して関連をみたところ、日本語能力の**上位回答群（例：母語レベル）ほど賃金が高い傾向**がみられた。



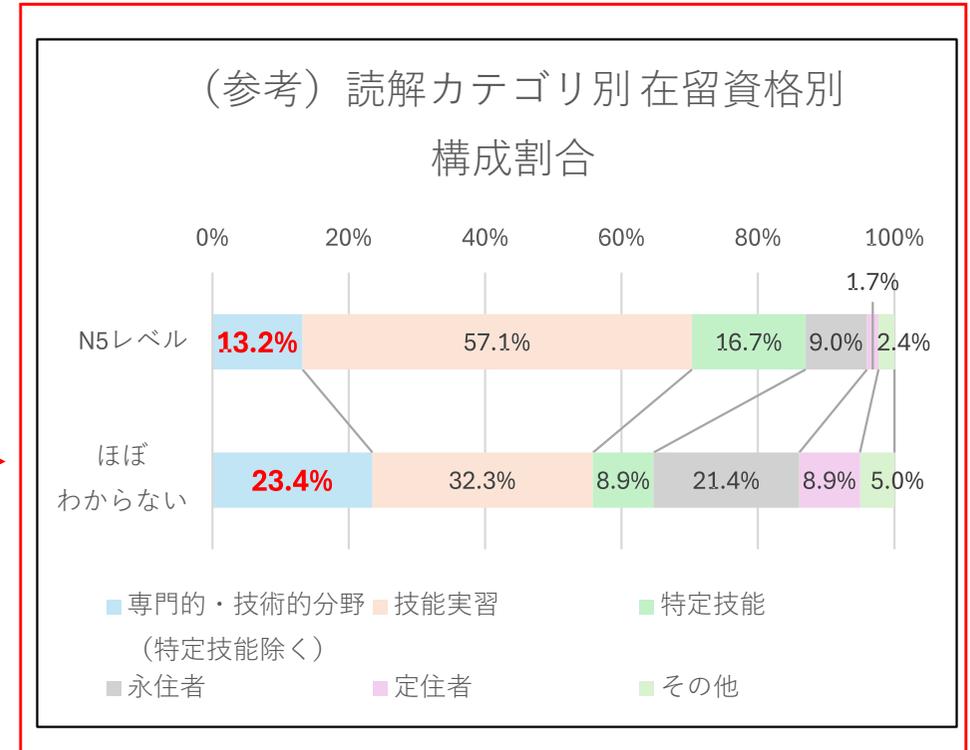
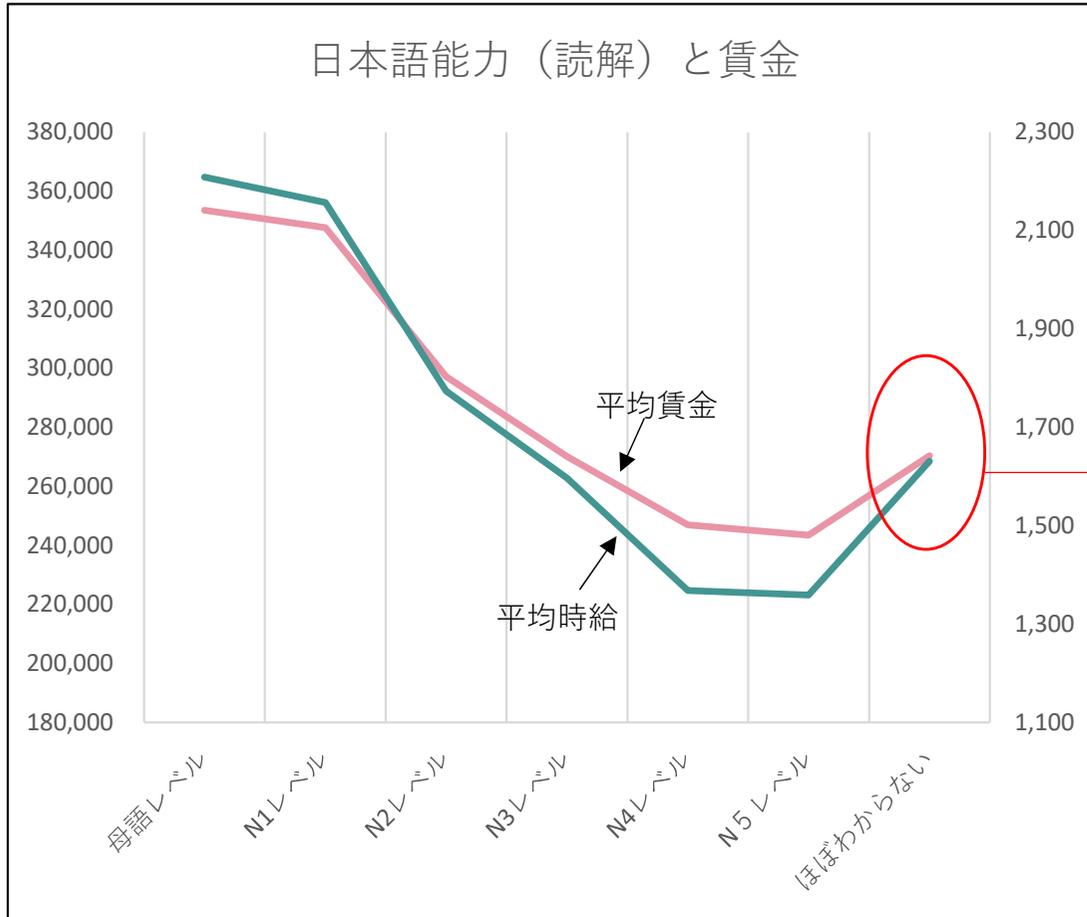
在留資格別平均給与額（令和6年調査・一般のみ）

	きまって支給する 給与額（千円）
外国人常用労働者計	274.9
専門的・技術的分野 （特定技能除く）	318.6
技能実習	210.0
特定技能	250.3
永住者	324.1
定住者	255.0

※専門的・技術的分野（特定技能除く）は特別集計により算出

日本語能力（読解）と賃金の連動性について（在留資格計）

- 同様に、日本語能力（読解）についても、**上位回答群（例：母語レベル）ほど、賃金が高い傾向**がみられた。



在留資格別平均給与額（令和6年調査・一般のみ）

	きまって支給する 給与額（千円）
外国人常用労働者計	274.9
専門的・技術的分野 （特定技能除く）	318.6
技能実習	210.0
特定技能	250.3
永住者	324.1
定住者	255.0

※専門的・技術的分野（特定技能除く）は特別集計により算出

<参考> 日本語能力と賃金の連動性について（詳細表）

日本語能力（会話） N=6,985 ※ 度数はウェイトなし。その他はウェイトを乗じた復元値による算出。

	平均賃金	平均時給	平均時給 (所定内)	労働時間	労働時間 (所定内)	勤続年数	平均年齢	度数
能力高								
母語レベル	341,265	2,113	2,085	168.6	152.6	4.6	34.8	897
幅広く可能	328,365	1,993	1,957	170.1	155.5	3.7	36.9	1,775
場面に応じて可能	288,830	1,729	1,688	170.5	158.1	2.5	32.2	1,021
長い会話に参加可能	277,588	1,626	1,582	175.3	156.2	3.6	34.3	463
身近な話題ならば可能	259,941	1,551	1,496	173.8	157.3	2.4	31.7	773
短い会話なら可能	256,142	1,447	1,392	182.4	160.1	2.3	29.9	1,332
基本的な挨拶のみ	256,202	1,427	1,379	185.3	161.8	2.2	31.4	612
能力低								
ほぼできない	288,392	1,670	1,616	181.5	161.0	2.6	35.6	112

日本語能力（読解） N=6,959 ※ 度数はウェイトなし。その他はウェイトを乗じた復元値による算出。

	平均賃金	平均時給	平均時給 (所定内)	労働時間	労働時間 (所定内)	勤続年数	平均年齢	度数
能力高								
母語レベル	353,605	2,209	2,192	166.6	153.0	4.3	34.1	931
N1レベル	347,683	2,157	2,124	165.3	153.4	3.7	37.3	1,507
N2レベル	297,200	1,774	1,713	171.4	158.5	2.7	32.3	1,118
N3レベル	270,124	1,597	1,549	174.8	157.9	2.8	31.9	1,037
N4レベル	246,884	1,368	1,315	184.8	161.2	2.1	29.2	1,136
N5レベル	243,505	1,359	1,309	184.2	159.9	2.4	31.5	893
能力低								
ほぼわからない	270,320	1,631	1,596	177.7	155.8	2.7	38.5	337